

♪ Kobe Music Stage ♪

JAZZ LIVE

2020 1/25 sat. 14:00~15:00 ※荒天中止

神戸空港ターミナルビル3F フリースペース

【演奏曲目】

on a clear day

GNID

body & soul

it could happen to you

tenor madness

east of the sun ほか

※順不同

※演奏時間・内容は都合により変更になる
場合もあります。



Tannor Sax

里村 稔

12歳頃に兄弟の影響でジャズやフュージョンを聞き始め、アルトサックスを始める。
大学に進学し、本格的にジャズに取り組みテナーに転向。独学でジャズを学ぶ。
主にビッグバンドで活動。コンテストで様々な賞を受賞。
98年には大阪のグローバルジャズオーケストラとアメリカ西海岸のモンテレージャズフェスに参加。フュージョンユニット BLACK CANDY 参加時には韓国ツアーを年二回行ったりと活動の場を海外にもひろげている。
これまでケニーワシントン、ルイスナッシュ、クリフ・アンダーソン、ボビー・シュ、ビル・ワトラス、村上ポンタ秀一、山本剛、岩瀬立飛、東原力哉、続木徹、多田誠司、など内外の有名アーティストと共演。
2014年には自己のカルテットによるファーストアルバム「FALL」を発売。
2018年にセカンドアルバム「SPARTACUS」を発売。現在、古谷亮奈ハイフッドビッグバンド、講師、玉田玉秀とのジャズと講話のコラボレーション、シンフォニーホールビッグバンド、ハードバップ研究会など様々なスタイルで活動中。



Piano

河村 孝彦

1955年 大阪市生まれ
1973年 甲南大学経済学部入学と同時に軽音楽部に所属しジャズピアノを始める
1974年 大塚善章氏に師事、ジャズ理論を本格的に学ぶ
1975年 自己のピアノトリオを結成
1977年 輸入専門商社に就職しながら梅田ニューサントリー 5、ロイヤルホース、芦屋レフトアローン、神戸北野町 SONE、明石 Pochi 等関西のライブハウスのみならず東京青山、六本木、四国高松、松山、徳島各地で定期的に演奏活動を継続
2015年末退職
オリジナルユニット立ち上げ
またヴォーカル伴奏等のライブ活動も精力的に行っている。
2013年7月「なにわジャズ大賞」「なにわ芸術祭新人賞」を受賞



Bass

光岡 尚紀

1981年10月17日生まれ。大阪府出身。
14歳の時に兄の影響によりエレキベースをはじめる。
その後2003年より本格的に音楽の勉強をはじめ、2004年からウッドベースを始める。
BASSを藤岡靖博氏、魚谷のぶまさ氏に師事。関西を本拠地に国内外のミュージシャンと数々のセッションを重ね、多数のライブやレコーディングに参加。
演奏活動はJAZZだけでなく、ブライダルやホテルでの演奏、またJ-POPのサポートなど幅広いジャンルで展開。
参加アルバムは
今西佑介セクステット「Crisp」、「WAYFARER」、「Weather」、「METEOROLOGY」
中山瞳トリオ「Perdido」、「DEAR」
田中ヒロシトリオ+広瀬未来「three in one and one」
Shojiro Yoko and his Big Band「YOKO BB」
生島大輔バンドネオンユニット「Pensées」



Drums

平田 正

生田中学校在校時より音楽に関心を持つ。
流通科学大学情報学部へ進学し在学中は神戸大学の軽音楽部に所属。
ドラミングを河瀬勝彦氏、北村吉彦氏、松山重成氏らに師事。2010年よりジャズに傾倒し開店した元町の名店【ジャストインタイム】の音響機材を譲り受けイベントプロデューサーとしての手腕を発揮。
現在はむさし証券で働く傍ら神戸空港ジャズライブ、カルメニオープンJAZZセッション、ミントテラスプレミアムJAZZライブ、灘区ワンデージャズロード、港都KOBEBE芸術祭スペシャルJAZZライブ、湊川JAZZ市場、旧居留地ナイトマーケットJAZZライブ、英国風パブHUB三宮店ジャズライブ等、神戸を代表する新しいジャズシーンを数多く演出している。